

令和元年度 新居浜市立図書館協議会 会議録

- 1 日 時：令和2年2月28日（金）15時30分から16時00分
- 2 場 所：新居浜市立別子銅山記念図書館 多目的ホール
- 3 出席委員：今井委員、渡辺委員、高浜委員、玉井委員、内田委員、寺尾委員、濱田委員
- 4 欠席委員：松木委員、宮川委員、神野委員、吉村委員、三原委員
- 5 事務局：上野館長、杉田副館長、久葉副館長
- 6 傍聴者：0名

7 会議概要

(1) 会長選出

会長に高浜委員を選出

(高浜会長) あいさつ

船木小学校の図書館には「図書館は？（はてなマーク）から！（びっくりマーク）になるところ」という掲示があるが、このような図書館になるように読書活動の推進になればと考えている。

(2) 令和元年度事業報告について

(久葉副館長) 別紙資料により説明

《質疑なし》

(3) 図書館運営について

ア 令和2年度の事業実施について

(久葉副館長) 別紙資料により説明

《質疑なし》

イ 図書館施設整備事業について

(杉田副館長) 別紙資料により説明

《質疑なし》

(4) その他（質疑・協議等）

(内田副会長)

第2会議室の中高生向け学習室としての利用について、読書会やお話会で第2会議室を利用する際、机が多すぎて窮屈に感じることがある。学習室での利用実績は取っているのか。カウントするには、例えばノートを置いておき、各自記入してもらう方法がある。その実績により、机の数を考慮していただきたい。

(杉田副館長)

長期休暇中等は閲覧室、学習室ともに利用は多いが、長期休暇中とそれ以外の時期で配置する机の数

を変えるなど、柔軟な対応を検討していきたい。

(高浜会長)

臨機応変な対応をお願いしたい。

(久葉副館長)

本日欠席の三原委員さんより、サピエ図書館についてメッセージをいただいているので、報告させていただきます。

「昨年6月に「視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」が制定、施行された。それに伴い、公共図書館でも障がい者サービスの拡大が予想される。サピエ図書館に関して、今年度の経過はどのようになっているか。」

昨年度の協議会において、三原委員さんにはサピエ図書館についてご提案いただいた。当館では、今年度もサピエ図書館の導入には至っていないが、可能な範囲で、触る絵本、LLブック、録音資料などを幅広く収集している。サピエ図書館の必要性も十分感じている。

(上野館長)

同法の第10条、インターネットを利用したサービス提供体制の強化（サピエ図書館を想定）と資料にあり、後々国からガイドライン等が出されると思われるので、それに則った対応を検討していきたいと考えている。

(内田副会長) 閉会あいさつ

図書館が多様なサービスをしていることが分かった。図書館が生涯学習の拠点として、また、「?（はてなマーク）が！（びっくりマーク）にかわる場所」として機能するために協力していきたいと感じた。